



「ぶどう園と農夫」のたとえ マルコ 12,1-12

¹ イエスは、たとえで彼らに話し始められた。「ある人がぶどう園を作り、垣を巡らし、搾り場を掘り、見張りのやぐらを立て、これを農夫たちに貸して旅に出た。² 収穫の時になったので、ぶどう園の収穫を受け取るために、僕を農夫たちのところへ送った。³ だが、農夫たちは、この僕を捕まえて袋だたきにし、何も持たせないで帰した。⁴ そこでまた、他の僕を送ったが、農夫たちはその頭を殴り、侮辱した。⁵ 更に、もう一人を送ったが、今度は殺した。そのほかに多くの僕を送ったが、ある者は殴られ、ある者は殺された。⁶ まだ一人、愛する息子がいた。『わたしの息子なら敬ってくれるだろう』と言って、最後に息子を送った。⁷ 農夫たちは話し合った。『これは跡取りだ。さあ、殺してしまおう。そうすれば、相続財産は我々のものになる。』⁸ そして、息子をつまえて殺し、ぶどう園の外にほうり出してしまった。⁹ さて、このぶどう園の主人は、どうするだろうか。戻って来て農夫たちを殺し、ぶどう園をほかの人たちに与えるにちがいない。¹⁰ 聖書にこう書いてあるのを讀んだことがないのか。『家を建てる者の捨てた石、これが隅の親石となった。』¹¹ これは、主がなさったことで、わたしたちの目には不思議に見える。』」

¹² 彼らは、イエスが自分たちに当てつけてこのたとえを話されたと気づいたので、イエスを捕らえようとしたが、群衆を恐れた。それで、イエスをその場に残して立ち去った。

マタイ 21, 33-46

³³ 「もう一つのたとえを聞きなさい。ある家の主人がぶどう園を作り、垣を巡らし、その中に搾り場を掘り、見張りのやぐらを立て、これを農夫たちに貸して旅に出た。³⁴ さて、収穫の 때가近づいたとき、収穫を受け取るために、僕たちを農夫たちのところへ送った。³⁵ だが、農夫たちはこの僕たちを捕まえ、一人を袋だたきにし、一人を殺し、一人を石で打ち殺した。³⁶ また、他の僕たちを前よりも多く送ったが、農夫たちは同じ目に遭わせた。³⁷ そこで最後に、『わたしの息子なら敬ってくれるだろう』と言って、主人は自分の息子を送った。³⁸ 農夫たちは、その息子を見て話し合った。『これは跡取りだ。さあ、殺して、彼の相続財産を我々のものにしよう。』

³⁹ そして、息子を捕まえ、ぶどう園の外にほうり出して殺してしまった。⁴⁰ さて、ぶどう園の主人が帰って来たら、この農夫たちをどうするだろうか。」⁴¹ 彼らは言った。「その悪人どもをひどい目に遭わせて殺し、ぶどう園は、季節ごとに収穫を納めるほかの農夫たちに貸すにちがいない。」⁴² イエスは言われた。「聖書にこう書いてあるのを、まだ読んだことがないのか。『家を建てる者の捨てた石、これが隅の親石となった。これは、主がなさったことで、わたしたちの目には不思議に見える。』⁴³ だから、言うておくが、神の国はあなたたちから取り上げられ、それにふさわしい実を結ぶ民族に与えられる。⁴⁴ この石の上に落ちる者は打ち砕かれ、この石がだれかの上に落ちれば、その人は押しつぶされてしまう。」⁴⁵ 祭司長たちやファリサイ派の人々はこのたとえを聞いて、イエスが自分たちのことを言うておられると気づき、⁴⁶ イエスを捕らえようとしたが、群衆を恐れた。群衆はイエスを預言者だと思っていたからである。

ルカ 20, 9-19

⁹ イエスは民衆にこのたとえを話し始められた。「ある人がぶどう園を作り、これを農夫たちに貸して長い旅に出た。¹⁰ 収穫の時になったので、ぶどう園の収穫を納めさせるために、僕を農夫たちのところへ送った。ところが、農夫たちはこの僕を袋だたきにして、何も持たせないで追い返した。¹¹ そこでまた、ほかの僕を送ったが、農夫たちはこの僕をも袋だたきにし、侮辱して何も持たせないで追い返した。¹² 更に三人目の僕を送ったが、これにも傷を負わせてほうり出した。¹³ そこで、ぶどう園の主人は言った。『どうしようか。わたしの愛する息子を送ってみよう。この子ならたぶん敬ってくれるだろう。』¹⁴ 農夫たちは息子を見て、互いに論じ合った。『これは跡取りだ。殺してしまおう。そうすれば、相続財産は我々のものになる。』¹⁵ そして、息子をぶどう園の外にほうり出して、殺してしまった。さて、ぶどう園の主人は農夫たちをどうするだろうか。¹⁶ 戻って来て、この農夫たちを殺し、ぶどう園をほかの人たちに与えるにちがいない。」彼らはこれを聞いて、「そんなことがあってはなりません」と言った。¹⁷ イエスは彼らを見つめて言われた。「それでは、こう書いてあるのは、何の意味か。『家を建てる者の捨てた石、これが隅の親石となった。』¹⁸ その石の上に落ちる者はだれでも打ち砕かれ、その石がだれかの上に落ちれば、その人は押しつぶされてしまう。」¹⁹ そのとき、律法学者たちや祭司長たちは、イエスが自分たちに当てつけてこのたとえを話されたと気づいたので、イエスに手を下そうとしたが、民衆を恐れた。

祈りのヒント

- 神は私たち一人一人にぶどう畑を与えてくださいました。
私たちの家族、コミュニティ、私たちの仕事、私たちの教会、私たちの環境、それらはすべて私たちのぶどう畑の一部です。
神は自分のぶどう園から誰も排除しません。
- 神は自分のぶどう園から誰も排除しません。人々は与えられたぶどう畑を守れず、自分を排除します。
- 神は私たちが望むようにぶどう畑を管理させていただきますが、私たちはぶどう畑の所有者ではありません。
- 神が私に与えてくださった贈り物をどのように使って他の人を助けることができますか。
- 福音書の中で最も悲しい言葉の1一つは、父親からのこの無邪気なコメントです。「彼らは私の息子を尊重してくれるでしょう。」
- イエスが今日この世に来られたらどうなるでしょうか。
排除すべき人となるでしょう。
- イエスは追い出されて殺されました。しかし、復讐しませんでした。それどころか、ご自分の拷問者を許し、愛によってすべての人を神と和解させました。
- イエスは神様の愛がどのようなものを示しました。
私たちが何をしようとも、イエスは私たちを愛してくださいます。
- 私たちはこのたとえ話のテナントです。神はぶどう園を繁栄させるために必要なものすべてを与えてくださいます。ぶどう畑を思い通りに管理する自由も与えてくださいますが、ぶどう畑は神のものです。
- 神が私に望んでおられることはなんでしょうか。神が私の生活についてどうお考えかを知ることこそ、祈りの目的の一つです。
- イエスが私について話していることを知ったとき、私は恐れるべきではありません。パリサイ人たちは、他の人々の反応を恐れていたため、彼の言葉を恐れしました。彼らは、心の底では愛されているという信仰を持っていなかったため、恐怖でいっぱいでした。
- 愛されていることを感じさせてくださるように神様に祈りましょう。